

「第3回 湖西市立地適正化推進協議会」議事録

日 時：2021年2月3日（水）10時00分から12時00分

場 所：湖西市役所 市長公室

参加委員：小泉祐一郎会長、鈴木一平委員、後藤毅彦委員、牧野敏之委員、井川あい子委員、鈴木誓子委員、高柳邦彦委員、山内秀彦委員、大隅泰史委員 9名

事務局：土屋都市整備部長、吉田都市計画課長、藤井都市計画課長代理、今泉都市計画係副主任、山下都市計画係副主任 5名

協議内容

(1) 湖西市立地適正化計画（案）について

(2) 津波シミュレーション解析結果について

協議会の流れ

(1) 湖西市立地適正化計画（案）について

- 委員） ・概ね5年ごとに見直しを行うとしていますが、社会状況が大きく変化しているため、もう少し短いスパンで見直しをしてもいいのではないのでしょうか。
- 会長） ・都市再生特別措置法に目安として概ね5年ごとという記載があります。
- 委員） ・コロナの影響により、公共交通機関の近くに住むと生活が便利になるなどの考え方も変わってきているので、見直しの時期は早くても良いと思います。
- 委員） ・公共交通は、導線がしっかりしていれば使い勝手がよくなります。コロナにより、移動手段が極端に変わってきているので、交通インフラを中心にした誘導も変わってくるかもしれません。
- 委員） ・ハザードマップなどが更新された時には、随時見直しができるの良いですね。
- 会長） ・新居地区については、都市計画マスタープランに地域拠点として位置づけがあるため、本来なら誘導区域の対象となりますが、津波の影響があるため誘導区域に“設定をしたいけどできない”ということが伝わる表現がされると良いと思います。
- 委員） ・概要版は作りますか。
- 事務局） ・作成します。
- 会長） ・作成する際には、要約するだけでなく、パブリックコメントの意見を参考にわかりやすい内容となるようにしてください。

(2) 津波シミュレーション解析結果について

- 事務局） ・今回の解析結果をふまえて、湖西市としてどう対応をするか検討をしている。
- 委員） ・防潮堤などの津波対策がすぐにできないのであれば、新居町駅周辺を誘導区域に入れるのはかなり先になってしまうのですか。

事務局) ・立地適正化計画自体が長期的な計画になります。費用等の課題もあるため、現在検討しておりますが、市の方針がまだ決まっていません。命山や津波避難タワー等まずは逃げるための施設整備を進めています。津波対策については、静岡モデルの検討会も行っており、今回の資料を基に市として議論をしていきたいと考えています。

(以上)

備考